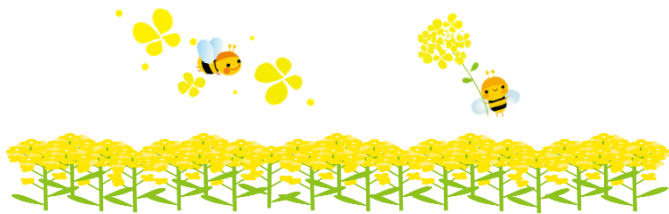


元気いっぱい!!



 日本赤十字社医療センター附属乳児院
Home for Infants, Japanese Red Cross Medical Center

〒150-0012 東京都渋谷区広尾4丁目1番1号

TEL 03-3400-0147 (代) 03-3400-1311

<http://www.med.jrc.or.jp/relation/tabid/385/Default.aspx>

理念

わたしたちは、困っている子どもとその家族を助けたいという思いを集結し、どんなときでも子どものいのちと健康、尊厳を守ります。

就任一年を振り返って

院長 芝 太郎

あと2週間ほどで新たな一年の始まりを迎えます。

院長としての4月に就任してからの初年度を振り返ると、体制が変わる中で子どもたちに提供できる生活と医療の質をいかに保てるかを考えてきた一年でした。前院長である今井医師が嘱託医となって支援してくださり、現場の看護師、保育士、その他の職種全員で子どもたちの健康と最善の利益のために尽力できたと思っています。次年度も引き続きより良い体制を目指して努力を続けていければと思います。

また、コロナ禍によって中止されていた多くの活動が再開できた年でもありました。特に、運動会で保護者の皆さんが参加できるようになったこと、ボランティア活動の再開、遠足が実施されたことは、乳児院に活気をもたらしました。

一方で、クリスマス会は感染症の影響で部屋ごとの実施となり、予定していた全体での開催を行うことはできませんでした。残念でしたが、子どもたちの健康を守るには必要な判断だったと思います。感染対策という課題にも引き続き取り組めたらと思います。

直近では1月1日に能登半島地震もありました。被災された方にお見舞いを申し上げるとともに、私たち日本赤十字社医療センター附属乳児院でも、子どもたちの安心安全のための一層、防災への意識を高めていきたいと思っています。

次年度も、乳児院に関わる職員、日赤医療センターも含めて全員で子どもたち一人一人に寄り添い、その最善の利益のために医療体制や生活体験向上の取り組みを続けるとともに、乳児院の専門性を地域社会に貢献する取り組みも進めていきます。

皆様のご理解とご支援のほどよろしくお願いいたします。



運動会 (6月)



移動水族館 (9月)

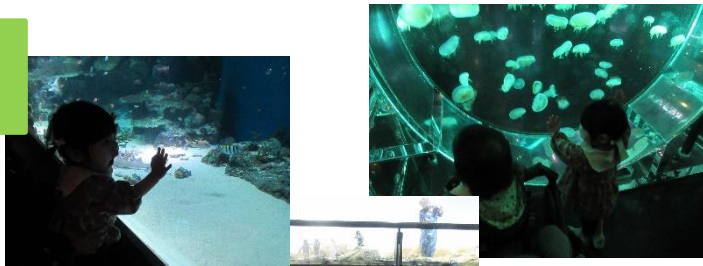


クリスマス会 (12月)

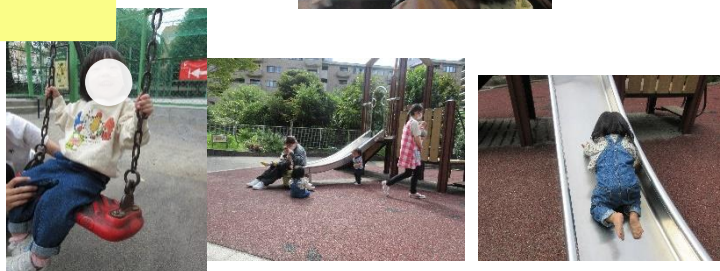
うさぎ

暑さが通り過ぎた時期、北公園や広尾公園へお散歩に行きました。人工芝の上に寝転んで日向ぼっこをしたり、遊具で遊んだり、みんな思い思いの時間を過ごしています。滑り台も下からズンズン登っていくよ！すごいね！

えんそく



こうえん



らいおん

楽しい行事がたくさんあり子どもたちの笑顔がたくさん見られました！らいおん室の子どもたちの様子をお届けします。

ハロウィン



お菓子をたくさんもらって笑顔いっぱいの子もたちでした。衣装もとっても気に入っていました☆

遠足

アクアパーク品川へ！魚やイルカショーを見て楽しく過ごしました♪



クリスマス

美味しいケーキを食べて楽しいクリスマスになりました。サンタさんからのプレゼントに子どもたちみんな大喜びでした♪



ぱんだ

おさかないっぱい
いたよ~!

ハロウィン・クリスマス・初詣・豆まきなどたくさんの楽しい行事がありましたが、中でも初めてのことだらけの遠足の様子をお届けします。
昨年の10月にすみだ水族館へ遠足に行きました。普段見ているバスに乗ったり、動いている電車に乗ったり冒険がたくさんでした！また、初めての生き物たちを見て触れてきました。外食をしたり、お土産を選んだり楽しい1日を過ごすことが出来ました♪



心理

とても小さな赤ちゃんに、心理士がいったい何をしているのだろうと、不思議に思う方もいらっしゃるでしょう。今回は、大きく2つのお仕事をご紹介します。

まず1つ目に、お子さまが不安や不快など感じたときに、安心感や安全感、心地よい感じを取り戻せるような支援をしています。例えば、大きな音でびっくりして泣いてしまったようなときは、抱っこをしたり、音の説明をしたり、その音が聞こえない位置に移動したりします。転んで痛い思いをしたときは、慰め、適切な処置をしてもらえよう保育者、看護師、医師のところへ一緒に向かいます。

子どもたちは、日に何度も【危機】に遭遇します。そのたびに気持ちはユラユラ・グラグラ…不安や心配や恐れが生まれます。その時に必要な支援をして【あ〜、びっくりしたけど、大丈夫だった】【助けてもらえて、安心】を感じてもらえよう、関わっています。

2つ目は、お子さまに合わせた発達促進的な支援です。得意不得意を丁寧に探り、強みを伸ばすような支援を行います。苦手な部分は一緒に取り組み、うまくコツがつかめるように練習をします。お勉強のようなことをすることもあれば、遊びの中で練習を手助けすることもあります。

心理士の関りは、1日の中のほんの数分かもしれませんがその中でお子さまはたくさん思いを伝えてくれます。言葉にならない気持ちを逃さないよう、これからも丁寧な観察とケアを続けていきたいと思っています。

今回は、お子さまへのケア、支援を少しご紹介しました。私たち心理士は、ご家族や里親さんへの支援も行っています。心理士に聞きたいことや話したいことがある際は、どうぞお気軽に声をかけてください。

ボランティア活動

コロナ禍でボランティアさんの活動を3年間中止していましたが、2023年10月より再開しました。

これまで活動していた方たちが多数再開してくださり、団体の活動も順次始まり、新たに

看護大学ボランティアサークルの受入れも開始しました。子どもたちはボランティアの皆さんが来るのを楽しみにしています。



ベビーマッサージの絆ベビー
乳児さんのマッサージをしてくれます。

スマイリングホスピタルジャパン
大道芸などを子どもたちは喜んで、良い気分転換になっています。



散髪ボランティア
子どもたちの髪型がさっぱり格好良くなり好評です。

人形劇「こどもの樹」
みんなわくわくしながら観ています。

皆さまのボランティア活動により、充実した遊びや子どもたちとのふれあい時間が増え、感謝しています。



育児サークルを始めました！

乳児院では地域で暮らすご家族を支援していきたくと思っています。コロナ禍でなかなかできなかったのですが、隣接の日赤医療センターで助産師が行っていた「育児サークル」を、乳児院のプレイルームで、乳児院の保育士・看護師も合同で実施することにしました。

毎月第4木曜日の13～14時の1時間。まずは自己紹介、保育士による触れ合い遊びをしてみんなで場に慣れます。その後に助産師・保育士・心理士・栄養士によるミニ講座。災害対策、育児中のストレス対処法、子どもの食事と栄養について等毎回テーマを決めて行っています。そして最後はグループに分かれて座談会です。お話が盛り上がり、ライン交換して帰られる方もいます。1歳までの方ならどなたでも参加できますので、ぜひ日赤医療センターのホームページをご覧ください。



編集後記 紙面についてのご感想・ご質問等ございましたら園だより係までお寄せください。